

高退協ニュース

高知高退協
事務局
2002・1・
No.114

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸ノ内2丁目1-10
TEL 088-1822-1682
TEL 088-1822-1682
郵便振替口座 0165012111893



H. Aseta



新年のごあいさつ

会長 岡崎 清恵

会員の皆様、新年お目出度うございます。まず心から皆様のいっそうのご多幸とご健勝をお祈り致します。

さて、私共の高知高退協も二十六歳となりました。一九七六年五月一日、高教組の援助の下に約30名の仲間が結集してスタートして、四分の一世紀の歳月の経過の中で、質量ともに発展をとげ、会員数は三百九十一名、約十三倍に増加し諸行事も着実に充実してきました。

これもひとえに皆様方のご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

私たちを取り巻く内外情

勢は、政治、経済、社会のいずれの分野においても危機的状況にあることは、お互いに認めるどころです。

とくに、平和の問題が重大になっていきます。昨年九月のアメリカでの同時多発テロに端を発し、引続く米英による報復戦争の拡大、「シヨー・ザ・フラグ」というアメリカの要請に積極的に応ずる日本の「報復戦争参加法」の強行成立、自衛隊の海外派遣、さらには有事立法の成立が企図されるなど、重大な状況です。

「教え子を再び戦場に送らない」誓いを立てて、今日まで奮闘してきた私たち

新年俳句

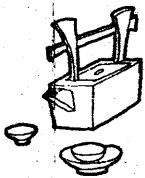
拭ききりし玻璃戸に年の改まる
合田青幹

語り継ぐすぎし戦を去年今年
田所たねを

初日燦水しぶきあげ鴨の翔つ
吉本伸秋

初層掛けて厨の改まる
中内みち代

孫の声まづ聞きたくて初電話
小笠原さちを



にとつては、正にただならぬ思いがいたします。

憲法、教育基本法の改正もスケジュール化されようとしていきます。お互いに力を合わせて、この危険な道を阻止しなければならぬと思ひます。

加齢と共に体力気力の衰えは止むを得ませんが、持てる力を振りしぼって頑張ろうではありませんか。

人類の歴史の歯車を、平和と民主主義、豊かな生活の方向に押し進めようではありませんか。

重ねて会員の皆様のご健勝と、高退協の益々の発展を祈念し、新年のごあいさつといたします。



ントして走らせることになつてゐる。カンパ、集会、署名…に力を結集しましょう。

T・H

老声草

二〇〇一年は、政府にとつて「小泉改革の痛みを容赦なく弱者に押しつける準備、何時でも戦時体制へ突入しようとする体制づくり」の年ではなかったか。

医療費について言えば、①七十歳以下の個人負担は二割から三割へ（改正時期は明示せず）、必要な時期とはぐらかせてあるので、何時引き上げられるかわからない）、②七十歳以上の一割負担は据え置かれたが、負担上限（大病院で一カ月五千元、その他の病院三千元）の撤廃（二〇〇二年十月から）、③健康保険掛金の基礎を月収から年収に改悪（二〇〇三年四月から。ボーナスからも千分の四・二が徴収される）、等である。

医療費問題は、何時も医者と政治家と学者たちが論議し、医療費を支払う立場からの主張は届かない。この負担増によつて病院から遠ざかり、重症化、慢性化が進み、健康と命が余計に蝕まれる。同時に、このことは結果的に医療費増となる悪循環を繰り返すことになる。

また、タバコと発泡酒の増税は一先ず見送られた。これについて「消費者や業界の反発が強く見送った」と、人気取りの弁であるが、実は、小口に再値上げをせずに、二〇〇三年の税制改革時に大幅値上げをするのではないかと見られている。

更に、年金の減額支給、消費税引き上げが話題に上りはじめ、老人マル優も廃止の方向で協議される。

取りやすい所から取るといふ弱者いじめの政治、目を離すことができない。黙っていたら何をされるかわからない。カンパによつて来年早々土電電車に「医療費改悪反対」の広告をペイ

秦泉寺残日録

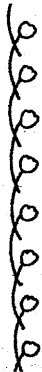
坪井 幹之

師匠近く

中田四一さんが亡くなった。十月の二十七日には「偲ぶ会」が開かれた。中田さんとは三つの接点がある。伊野商と高退協で一緒し、あわせて陶芸のほどきを受けた。

小学生時代、図工は割合得意で、水彩画や模型飛行機のコングールにも入賞した記憶がある。その後、戦中派の悲しさ、芸術的なものからは遠ざかった。戦後、青年期特有のディレクタンティズムで音楽、美術、文学などに興味を持ち、酒場で青臭い議論に耽っていた時期もある。

やがて定年、年金生活に入ると趣味が生き甲斐になってきた。「職美展」に油絵を出品したこともあるが、絵心が枯れてしまっているものにならない。次第に焼きものに目が向きだした頃、中田さんとの出会いがあった。早速、入門。初歩的な技術



俳句

10月27日(土) 香我美町 月見山

合田青幹

丹念に寡黙の夫婦秋耕す

秋冷や鐘鼓の一打堂に満つ

吉本伸秋

行在寺鐘股々と秋深し

秋茄子の長く曲がりて地にとどき

中内みち代

仙跡碑月に都を恋しとや

撞く鐘の余韻露けし行在寺

小笠原さちを

萩尾花とり囲まるる仙石碑

美男葛仰いでをりし老にけり

は勿論のこと、材料、道具等一切お世話になった。中田さんは岡山の出身であるが、なかなかの「いごそう」で多くの逸話を残している。その反面、焼きものの指導では懇切丁寧で、初心者にはありがたかった。古陶の一つ信楽まで修業に連れて行ってもらったこともある。

陶芸は土、形、焼きが大事だと言われるが、なかでも中田さんが重視したのは、焼きである。備前焼きなどのような焼締め、それも穴窯での焼成にこだわっていた。その窯も研究を尽くした自作である。この師匠と異なった意見を

持っている点がある。格が違うので論争をしたわけではないが、思いを述べてみよう。焼きものには「用の美」と言う言葉がある。食器、花入れにしる、茶陶にしる他のものを引立てることによってそれ自体の美を演出する。その点では、焼締めの釉薬ものも、ところをえれば、ともに美しい。好き嫌いはあっても、優

会員の消息

- 中川正路さんが高知医療生協病院に入院治療中
- 安芸和子さんが高知市民病院に入院治療中
- 岡崎清恵さんが高知市町内会連合会長より永年勤続で表彰を受ける



幡多支部望年会

中岡鉄夫

幡多支部の望年会は、12月10日中村市の「田舎新館」二階で開催されました。参加人員40余名、女性10余名でした。山原先生と私の挨拶の後に、乾杯が始まり、盛大な望年会になりました。丁度隣室で県退協幡多支部の望年会もあり、なかなかにぎやかな会でした。

劣はないと思う。最近の華道で使われているお花器はほとんど釉薬ものである。逆に茶室を飾る花入れでは、伊賀などの焼締めが珍重されている。

これを眺めれば、中田さんからはきびしい反論を食らうだろう。今は幽明を異にしたので、言いたい放題であるが、焼締めに熱中した気持ちだけはよく分かる。何日も何日も徹夜で窯を焚く。薪の灰が降り積り、やがて溶けて自然釉となつて作品を彩る。その過程は見えない。結果は全く偶然で、ときには人間業では不可能な絶品が生まれる。その醍醐味はこたえられないだろう。

十一月、仲間と弟子筋の手によつて、中田さん遺作の窯焚きが行われた。万分の一の恩返しにと、私も参加させてもらった。焼きものづくりに存外体力がいるが、これからも中田さんの衣鉢を継いで頑張ろうと決意だけはしている。冥福を祈って一筆を捧ぐ。



お知らせ

岡崎昭平さんが2000年の大和への親睦旅行、2001年の夏季学習講座での山原先生の講演と小津高校の歴史を描いたビデオを高退協に下さっています。ダビングもして下さるそうですので、希望なさる方は、岡崎さんまでご連絡をお願いします。

訃報

会員の千頭 鑽さんが十二月十六日逝去されました。ご冥福を心からお祈り申し上げます。

私の健康法



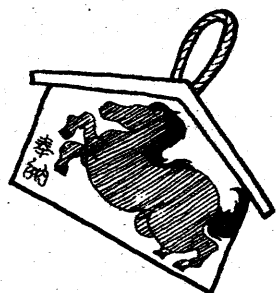
田所 昌澄

退職してから二年が過ぎようとしています。折角得た自由な時間を有効に使う為にも心身共に健康でありたいと思つても老化現象は避けられないこと。

歩くことが自分に最も適した運動と十年位前から毎日一時間位近くの山道を散歩して、これで腰痛も治った、血糖値もコントロール出来た、酒も十分飲めるぞと自負していたが、退職前から五十肩で腕が上がらずそのうち何とかなるだろうと思つているうちに、ズボンの後ポケットから財布を取り出すことも出来なくなり慌てて整形外科へ。

リハビリ体操を教えられたが単調な運動は長続きしないもの。とにかく体を動かさねばと思ひ、幸い自宅に畑があるので菜園作りを始めました。

シャツから絞り出るような汗をかきながら、何とか畑を耕しているうちに肩の痛みも消えてゆきました。自然のなかで生物の成長を楽しむながら時を過ごす菜園作りに今嵌まっていますが、疲れて帰れば飲む酒の量も増え健康増進に役立っているかどうか怪しいものです。



25周年記念 にぎやかに望年会

今年が高退協結成25周年の瀬も近づいた12月7日、高知城ホールで記念の望年会に60名が集まり、旧交を暖めました。

岡崎会長は30名から400名に成長した高退協の歩みを振り返り、橋元高教組委員長は高知で開く全国教研への協力を要請、来年こそは展望を拓こうという山原さんの乾杯の音頭で祝宴がはじまりました。

第2部の芸能交流会は、マジックやしばてん踊りなど高退協の無形文化財が登場して笑いや歓声にわきましました。

会場は美術展コーナーに

老眼鏡

「タリバン」(田中宇書)
(光文社新書)

カラスの鳴かぬ日はあつても、タリバンの名を聞かぬ日はない。テレビで、新聞で、聞かされるタリバンは、極悪非道なワルの集団ではないが、果たしてそうだろうか。この本を読むかぎりそんな印象は受けなかった。

アフガニスタンは、20年以上も戦争がつづけられている。ソ連の侵攻にはじまり、一九八九年ソ連軍が撤退してからも内戦がつづき、国土は荒廃してしまった。(なぜソ連が侵攻したか? について知ることができたのも、この本のおかげである)

タリバンが、長年つづく戦乱から逃れた難民の子弟から生まれたこと。(タリバンとはアラビヤ語で「学生たち」という意味だそうである)
そして私が一番知りたかったこと。なぜアメリカは「同時多発テロ」に襲われねばならなかったか? この疑問に答えてくれる文章を発見したので次に引用したい。

「彼らはエジプトやヨルダンといった母国に帰国した後、自分の国をより



七年目のペキン

西込 曠

ペキンは全く様変わりしていた。面包(ミエンパオ・食パンのこと)と言っていた安い黄色のタクシーはなくなり立派な車が多く走っていた。ビルが立ち並び道路網が整備され夜はガードレールの上にイルミネーションが煌々と輝き私には街も人も輝いているように見えた。オリンピック開催決定の効果に違いない。

日中両国の共産党の関係が改善されてのち日中友好協会と中日友好協会の関係も改善され二〇〇〇年五月の定期総会には三〇年ぶりに中国代表も招待された。私も高知支部代表の代議員として参加していたが総会にはさながら祝賀会のようなあった。

関係改善後の最初の文化友好交流として日中友好協会は日中アマチュア囲碁対局ツアーを催行した。経済学者で都立大名誉教授の金子春夫団長の元に結集したのは三十六人。中国棋院での対局には十級から七段までの二十七人が参加した。

開会式では中国棋院主席の陳祖徳九段、協会副会長の石毛嘉久夫八段などが挨拶を。

短歌

哀悼 井上清先生

榊原忠彦

末川や羽仁五郎らと井上清、熱弁振るひきもう騙されるな」と

「民主」とは「王の頭に釘打つ」と満堂酔わせたさる情熱

レッドパーシ吹き荒れ、逆コースの時期なりき「進歩」・「反動」の語にも馴れたり

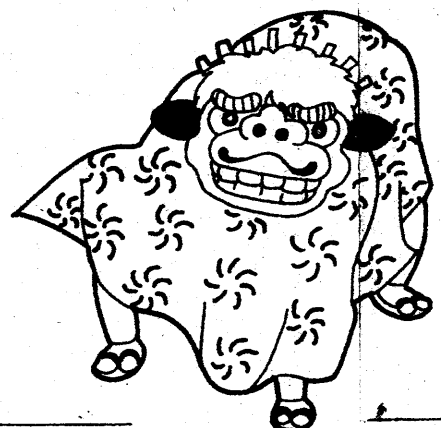
井上先生が不要とされし『旋風時代』、木戸氏に言われわれ買ひにけり

(木戸氏とは故木戸昭平さんのこと) 帰省せし自由民権館の講壇でにこやかなりしか老いし学究



夢に立ったが不幸な長い時期をのりこえての再会の感激がひしひしと伝わってきた。両国の事情や囲碁をオリンピックの正式種目にする運動などがよくわかった。各人が二局ずつ対局して、結果は日本の十勝四十四敗であった。日本の各人の力に見合う相手を中国側が用意しなかったのがかたよりの原因であろう。またはじめての中国ルールでの対局からくる心理的影響も大きかったように思う。キャプテン格の私もあえなく連敗した。

マルコポーロが世界でもっとも美しい橋といったと言う蘆溝橋、蘆溝橋抗日記念館、故宮などを観光して我家にたどりついたのがあの九月十一日の夜だった。



愛犬ロン

山本晶子

つぶ餅やりロンと呼びつつ大小屋を覗きみるに主は居らざる

人で言へば百歳となるロンなれば夜毎の散歩も息切れをせし

死よりなほ受け入れがたし忽然と消えゆきしロンのその後思ひて

書道塾の帰りに消えし子を待ちて六年過ごしし憔悴の母

死よりなほ苦しとも思ふ尋ね人の写真は四歳の男子なりけり



高退協 親睦旅行

世界の民具と温泉の旅

高退協親睦旅行は大阪の民族学博物館・有馬温泉・六甲山方面へ行った。

国立民族学博物館には世界の諸民族が実際に使った生活用具が展示されており、映像で伝統的な生活を見ることもできる。農具、猟具、食器、馬具、衣服、楽器、装身具、宗教儀式に使う道具、玩具などすべて手作りである。大きい物は長さ二〇米程の帆船やジブシーが家族で移動していた馬車である。アラビア語で書かれた「コーラン」に湯原さんが近づき、眼鏡をかけてしばらく見て「ええこと書いてちゅうのう」と言っていた。アフガニスタンの婦人服にも関心が集まった。イスラムでは女性の肌を男性が見ると興奮するから、肌を露出してはいけない。帽子覆面胴衣腰巻が一枚になった袋を頭からすっぽりカバー。

有馬温泉は日本最古の温泉の一つで銀泉と金泉がある。銀泉は無色透明で、金泉は鉄分を多く含みそれが

酸化して赤褐色である。金銀両方の湯船に交互に浸かってみた。私は大浴場で周囲に人がいなければ泳ぐことにしているが、今回は狭かった。夕食はカラオケでにぎわったが、室戸の上山さんの「乱れ髪」には女性の皆さんがうっとり耳を傾けた。有馬は温泉のそばに紅葉の名所がある。我々の行った十一月中旬は最もあざやかな時期であった。瑞宝寺公園では紅葉のすき間から青空がのぞいていた。六甲山頂も天候に恵まれ大阪湾開空方面を眺めることができた。六甲高山植物園では園内を歩きながら植

活動日誌

【11月】

- 8日 「こうたいきょう」編集委員会
- 12日 県教組教研集会（横浜新町小学校）
- 13日 11月度事務局会
- 15日 16日 親睦旅行（阪神方面有馬温泉泊）
- 21日 高知法律事務所開設35周年記念祝賀会（三翠園）
- 23日 中江兆民忌百年実行委の行事（自由民権記念館、得月楼）

物園の専門職員が草木の説明をしてくださった。草花は四月五月が美しいそうである。丸葉の木だったか、小指の先位の赤紫の小さな花が背中合わせの対になって咲いていた。質問し手帳に控える参加者もいた。旅の名称は研修から親睦に変わった。しかし今回の旅は親睦の上に研修にもなった。さらに今回の旅は大阪兵庫在住の皆さんにも参加を呼び掛けたが、多忙や体調不良で参加していただけなかった。

三谷隆彦



【12月】

- 1日 県教組で全退教教研集会の会
- 2日 3日 全退教四プロ代表者会（池田町）
- 5日 「こうたいきょう」校正（二校、三校は後日行う）
- 7日 12月度事務局会、「望年会兼芸能交流会」（高知城ホール2F）
- 8日 妹尾カツバ氏講演
- 10日 三千万署名を県議会議長に提出、互助会サークル補助金申請、幡多支部望年会
- 「こうたいきょう」22号完成

相撲三知識 四十六

林 勳

「決まり手」見直し（一）
「70手と2つの勝負結果」から「82手と5つの勝負結果」へ

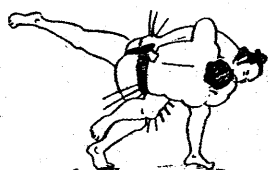
現行の決まり手は、それまで「四十八手の裏表」などと言われて数多くあった決まり手や諸説のあった技の名称を、元関脇・笠置山の先代秀ノ山親方が長年の研究と努力によって整理統合し、昭和三十年五月に「68手」と「2つの勝負結果」として発表したのが、三十五

年五月に「出し投げ」を、技をかけた力士の手の位置によって「上手出し投げ」と「下手出し投げ」に分け、「切り返し」から「河津掛け」を独立させて「70手」としたものである。

因みに、新しい「70手と2勝負結果」の決まり手は、三十年五月から場内放送されたが、星取表への記載は三十一年三月からである。「2つの勝負結果」とは、「決まり手でない決まり手」とも言われ、あいてのわざによらない勝負結果である。即ち、勇み足（いさみあし）・相手を土俵際へ寄り詰めた時、勢いあまって不用意に自分の爪先を土俵の外へ出してしまふ）、と腰砕け（こしくだけ）・相手が何も力を加えないのに、はずみでバランスを崩して腰が砕け、手を突いたり尻餅をついたりする）である。

この「70手と2勝負結果」は、以来四十年にわたって定着し、今日に至ったが、近年力士の体格、体力の変化、相撲のスピード化、他の格闘技術の導入などによって、勝負を細かく正確に表現するには「70手」では窮屈な感じになってきた。従って勝負が決まった場面を現在の決まり手にこじつけて当てはめざるを得ないことが多くなってきた。

以上のことから、勝負の決し方を彷彿させるような名称の「決まり手」でありたい、という思いから、決まり手係である大山親方（元幕内大飛）が中心となって検討してきた結果、従来の「70手」の名称はこれまでどおりとし、新たに「12手と3勝負結果」を加え、平成十三年一月場所から適用されている。（次回は、追加12手と3勝負結果について少し触れます）



二丁投げ

相手の外側の膝に自分の足を外から掛けて、相手の二本の足を払うように投げる技。二丁とは二本の足のことをいう。強引な技である。

新年おめでとうございます。

さあ元気に行こう北海道へ！！

スキー 研修案内

主催：高退協スキークラブ

日程：2002・2・5（火）～2・9（土）

4泊5日（ニセコ3泊札幌1泊）

（8日は札幌雪祭りの見学です）

場所：北海道ニセコスキー場

まだまだ参加には余裕があります。今すぐ申し込んでください。

連絡先：土佐山田町159-2 原 淳

TEL, FAX: 0887-52-1685 まで